

平成 26 年度札幌市における犯罪被害者支援の取組について

1 相談事業について

犯罪被害者等支援総合窓口などで相談対応を実施した。「性暴力被害者支援センター北海道 SACRACH(さくらこ)」の概要、相談件数については裏面のとおり

2 犯罪被害者等支援連携研修会

日時 平成 27 年 1 月 7 日 (水)

参加者 約 120 人

主催 札幌市、北海道、内閣府、北海道警察、(公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター

講演「犯罪被害と子どもの心理的支援」

富永 良喜氏 (兵庫教育大学大学院教授)

パネルディスカッション「子どもの支援体制の整備に向けて」

コーディネーター:善養寺 圭子氏

((公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター副理事長)

パネリスト:富永 良喜氏、龍島 秀広氏 (北海道教育大学大学院准教授)、
手代木 理子氏 (札幌市スクールカウンセラー・スーパーヴァイザー)、
前田 幸子氏 (北海道警察本部犯罪被害者支援室主監)

3 平成 26 年度犯罪被害者等支援研修

日時 平成 27 年 1 月 20 日 (火)

出席者 札幌市職員 72 人

(1) 犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する
条例について

市民まちづくり局地域振興部区政課地域防犯担当係長

(2) 「美紗の命が遺すもの」

講師 白倉 裕美子氏 (北海道交通事故被害者の会)

(3) 「犯罪被害者支援に携わって」

講師 前田 幸子氏 (北海道警察本部犯罪被害者支援室主監)



4 「犯罪被害者週間」街頭キャンペーン

日時 平成 26 年 11 月 28 日 (金)

場所 JR 札幌駅西改札口コンコース

(公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター、
北海道、道警本部など関係機関とともに啓発実施



「女性のための性暴力被害相談事業」について



1 窓口概要

- (1) 名称 性暴力被害者支援センター北海道SACRACH(さくらこ)
- (2) 開設日 平成24年10月1日
- (3) 開設時間 月曜日から金曜日の13時～20時(土日祝日、年末年始を除く)
- (4) 電話番号 050-3786-0799
- (5) 目的 性暴力による被害者に必要な総合的な支援(相談・カウンセリング等の心理的支援、産婦人科医療、法的支援、警察関連の支援等)を可能な限り一か所で提供することにより、被害者の心身の負担を軽減し、その健康の早期回復を図る。
- (6) 対象者 性暴力・性犯罪による女性の被害者(女兒を含む)
- (7) 支援内容 被害相談(電話・面談)、急性期対応、付き添い支援、ホームページによる情報提供、協力機関の紹介

2 相談概要

	平成24年度(10月から)	平成25年度	平成26年度(1月末まで)
開設日数	120	244	203
相談件数(のべ)	91	215	330
うち新規	72	120	113
うち再相談	19	95	217

3 平成26年度内訳(1月末まで)

(1) 相談内容

性暴力計(うち急性期)	強姦	強制わいせつ	DV	性虐待	痴漢	盗撮	その他の性被害	その他の犯罪	被害念慮	その他
229(9)	146	31	5	36	0	0	11	1	0	100

(2) 年代

	～10代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明
相談者	2	28	104	83	53	55	5	0	0	0
被害時代	28	89	58	29	22	3	0	0	0	0

(3) 加害者との関係

無面識	知人友人	学校関係	職場関係	交際相手	元交際相手	配偶者	元配偶者	家族	その他	不明
12	81	2	19	5	11	5	0	83	11	2

(4) 相談及び対応の時間帯

～13時	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～	18時～	19時～
8	69	47	50	43	32	42	39

(5) 支援内容

相談のみ	情報提供	付添支援	医療機関紹介	協力機関紹介	警察通報	その他
276	10	17	16	9	2	0

(6) 地区

札幌市内	道内	道外	不明
161	162	2	5